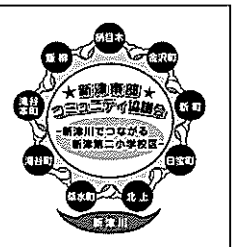




# 新津東部コミ協だより ミニかわら版

No.2  
12月15日号



**新津東部  
コミュニティ協議会**  
【事務局】  
新潟市秋葉区新津東町  
1丁目5番12号  
新津地区勤労青少年ホーム内  
TEL / FAX 0250 - 23 - 0780

## 第4期(平成25年度、26年度)新津東部コミュニティ協議会の 新しい事業方針が決定されました

11月12日に、第7回常任委員会が、開催され、斎藤会長より、東部コミ協の新しい事業方針が提案され、協議の結果、全会一致で決定されました。

ここでは、その概要について簡単にお知らせしたいと思います。  
まず、東部コミ協活動の当面の目標として、「安全安心な地域社会づくり」「福祉活動の充実」「地域社会の交流」を掲げ、様々な活動を行うことが示されました。

活動拠点については、新津地区勤労青少年ホームを基本としながらも、地理的条件や人員の移動手段等を考慮すると、勤労青少年ホームだけでなく、町内会館や自治会館、公会堂などの集会場の活用も検討していく。

活動目標を達成するために、組織の機構は、従来の常任委員会重視の運営方法を改め、各部会に運営の重点を移行し、立案、計画が行えるように改善を図り、計画の実践に当たっては、プロジェクトチーム

**新津東部コミュニティ協議会**  
第4期(平成25年度、26年度)

●三役・執行部●  
会長 齋藤 龍秋(銀印2丁)  
副会長 空席  
会計 中津 清吉(銀印2丁)  
監査 酒井 正芳(銀印2丁)  
事務局長 中津 清吉(兼務)

●総務部●  
部長 渡邊 和頭  
副部長 渡邊 忠男

●文化教養部●  
部長 佐々木 富雄  
副部長 渡邊 勲

●福祉健康部●  
部長 石澤 哲夫  
副部長 古川 修子

●児童育成部●  
部長 三輪 信江  
副部長 細田 久美

を編成し行うようにしていく。  
このプロジェクトチームには、それぞれのテーマに合わせた地域内外の専門家、実践者の方々に積極的に参加して頂き、地域の実情に合わせた研究・検討を行う。  
また、部会の人員確保については、地域内の趣味の会、同好会等から、東部コミ協に、団体登録をして頂き、その活動内容によって、その会の代表者の方から各部会に所属して頂くことを考慮し、そのために、登録された団体への会場使用料の一部助成等を検討する。  
この団体登録は、既存の団体だけでなく、各種の新しいサークルを数多く立ち上げることで、地域活性化に有効であるとともに、地域社会の交流にもつながっていくことが期待されています。  
前回の「新津東部コミ協だより」「新津東部コミ協だより ミニかわら版」でお知らせしました通り、第4期の役員体制については、様々な事が、ありましたが、今回新しい事業方針が上記のように決定されました。  
今後は、地域の皆様のご理解ご協力を頂きながら、この事業方針を確実に形にできるように役員一同努力してまいりますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

■東部コミ協は、「安全安心な地域社会づくり」「福祉活動の充実」「地域社会の交流」を当面の活動目標としています。

## 未来デザイン楽校 開催

総務部 渡邊 和頭

11月30日に、秋葉区地域課主催で、秋葉区内の地域コミュニティ協議会の役員等を対象とした、「秋葉区コミ協 未来デザイン楽校」が開催され、東部コミ協からは、福祉健康部、文化教養部、総務部から5名が参加しました。当日は、コミ協毎に、グループに分かれて、ワークショップ形式で様々な話し合いや作業を行いました。

司会進行は、秋葉区地域課山本さんが行い、最初に、自己紹介を兼ねた「アイスブレイキング」を行った後、研修会が始まりました。最初のグループワークのテーマが、「子供達に地域コミュニティ協議会とは、どんな所か説明してみよう」というものでした。

東部コミ協グループでは、小学校高学年生をイメージして「彼らにもわかる」説明を考えて、色々話し合いを行いました。

その結果、東部コミ協とは『父さん、母さん、おじいちゃん、おばあさんが「楽しくて、仲良いまち」をつくるために、みんなで「楽しく活動する会」と説明できるのではないかと結論となりました。

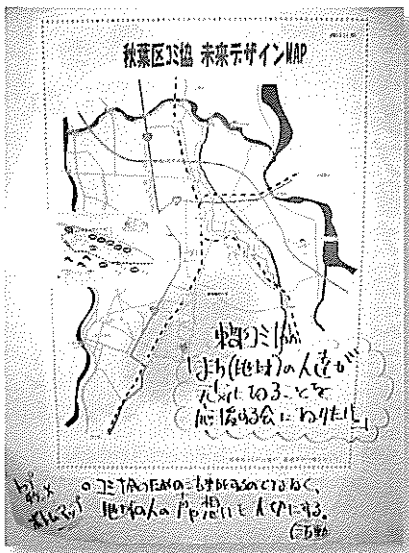
その後の作業では、東部コミ協の地域や活動の現状認識などについて意見交換を行った上で、東部コミ協の「未来デザイン」将来、どんな会になっているか？どんな会になりましたか？」について話し合いを行いました。

その中では、活動7年目を迎える東部コミ協ではあるが、やっと、新津地区勤労青少年

ホームに、事務所を設置し、地域の方々の認知度もまだまだという状態では、「東部コミ協が、先頭に立って、大きな事業を立ち上げ、地域の皆さんを引っ張っていく、いわゆる「トップダウン」ではなく、地域の皆さん1人1人の声や想いを大切に「ボトムアップ」型の活動を目ざすべきではないかという意見が出され、「未来デザイン」としては、「まち・地域の人達が元気になることを「応援する会」になりたい」ということにまとまりました。

今回は、僅か、5名で話し合いを行った結果であり、ここで、まとめられた物が、東部コミ協としての最終的な結論ではなく、今後皆さんと同じようなグループワークを行うことで、東部コミ協全体としての『未来デザイン』が描けると素晴らしいのではないかと思います。今回の研修会に参加しての個人的な感想です。

未来デザイン楽校のまとめは、勤労青少年ホームの掲示板に貼ってありますのでご覧頂ければ幸いです。



### 地域応援プロジェクト 第1弾

皆さんのやりたいサークル・会・は何ですか？

## 東部コミ協のお助けプロジェクト

東部コミ協では、地域応援プロジェクトの第1弾として、「会・サークル等の活動団体を立ち上げるお助けプロジェクト」を行います。

具体的には、地域の皆さんが、やりたいサークル・会等がある場合に、団体（会）設立申請申込書に必要事項を記入し、お出し頂くと、東部コミ協の各部会で検討させて頂き、東部コミ協としての助成（会場借上費用の一部等）金額等を決定します。

また、認可された団体（等）については、各種の告知等を、「東部コミ協だより」に掲載させて頂くことも検討いたします。

また、新規に団体を設立する場合だけでなく、既存の団体やサークルについても、会の活動趣旨や活動実態によっては、申請頂くことで、東部コミ協の登録団体として認定し、同様の助成を行うことも検討したいと考えております。

申請書は、東部コミ協事務室に置いてありますので、よろしくお願いいたします。

### 新津東部コミ協だより ミニかわら版 No.2

—平成25年12月15日号—

- 発行者：新津東部  
コミュニティ協議会
- 発行人：斎藤 龍秋
- 事務局：新潟市  
秋葉区新津東町  
1丁目5番12号  
新津地区  
勤労青少年ホーム内  
TEL・FAX 0250-23-0780
- 編集：新津東部  
コミュニティ協議会 総務部
- 印刷：(有)新津プリント社

■地域の古紙収集活動で、得られる交付金が、東部コミ協の貴重な活動費の一部となっています。